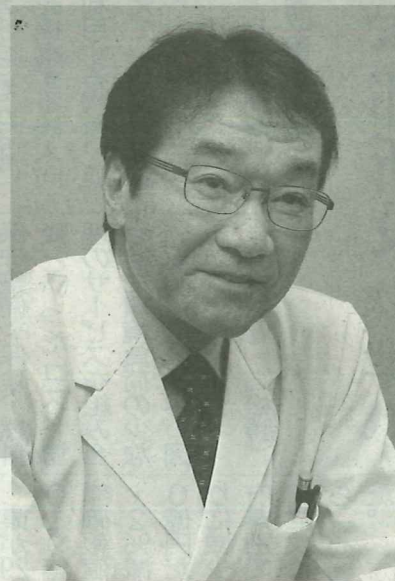


# 正しく知ろう! 皮膚の病気

## かんせん 乾癬とは?

これから暑さに向かい、肌を露出する機会が増えてきます。皮膚のトラブルの一つ、乾癬(かんせん)という病気をご存じですか。「カンセン」の響きから、人に感染するという印象を持たれ、つらい思いをしている患者の方もいますが、人にうつる病気ではありません。まず発疹ができ、それがフケのように白くなってはがれ落ちる症状が見られます。国内の患者数は43万人※1に上ると言われています。そこで、**浜松医科大学皮膚科学講座 本田哲也先生に乾癬を発症する原因と症状について、静岡県立総合病院 皮膚科 八木宏明先生に**対策と治療法について伺いました。〈企画・制作/静岡新聞社地域ビジネス推進局〉



静岡県立総合病院 皮膚科  
八木 宏明 先生

やぎ・ひろあき  
1988年浜松医科大学医学部医学科卒。90年沼津市立病院皮膚科・医員、92年～98年浜松医科大学皮膚科・助手、96年～98年米国コロラド大学医学部皮膚科・研究員として留学。99年沼津市立病院皮膚科・科長、2000年浜松医科大学皮膚科・講師を歴任し、09年静岡県立総合病院皮膚科・主任医長、20年に同部長。浜松医科大学臨床教授



浜松医科大学 皮膚科学講座  
本田 哲也 先生

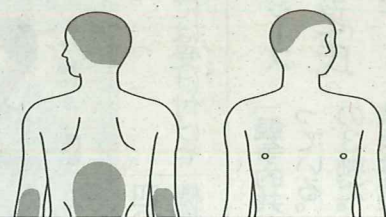
ほんだ・てつや  
2000年、京都大医学部卒。07年～10年京都大医学部附属病院皮膚科・助教、10年～12年米国国立衛生研究所・visiting fellowとして留学。12年～15年京都大医学研究科・AKプロジェクト・特任准教授に就任、15年～20年、同大医学部附属病院皮膚科・講師を経て、20年より浜松医科大学皮膚科・教授。専門は乾癬、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎

### 原因と症状

原因はまだまだ不明の皮膚疾患

「乾癬とはどのような病気なのでしょう?」

乾癬は皮膚に慢性的な炎症が起る病気です。皮膚の角質層が厚く硬く角化する病気「角化症」の一つです。症状は全身に現れますが、特に頭部や肘、尻、すねなど刺激を受けやすい場所に発疹が出やすいという特徴があります。たいていは、まず炎症によって皮膚が赤くなる「紅斑(こうはん)」が現れ、次に皮膚が盛り上がる「肥厚(ひこう)」となり、表面がフ



ケのように白く(せつ)下、それがは(ら)せ(せつ)とが進みます。症状の出方によ(癬・関節症性乾癬、乾癬症紅皮症の(癬)ます。いちばん多(乾癬)で乾癬全体(です。紅斑や鱗屑(もに約半数の患者(えます。「乾癬性(性乾癬)」は皮膚(く関節の痛みや腫(が変形すること(

### “人にはうつら

### 対策と治療

選択肢広がる治療法と治療薬

「乾癬かな」と思ったらどのような検査・診断となるのでしょうか。

診断自体は難しくありません。乾癬の症状は特徴的なので、発疹の広がり方や患部の症状を見ることで、皮膚科専門医であれば比較的簡単に判断できます。ただし、区別する必要がある疾患もあるため、皮膚の組織を採取して、病理診断を行うこともあります。また、「乾癬性関節炎(関節症性乾癬)」の場合、関節の痛みがリウ

マチの症状と似て痛みが同じ病気になることはなかなかない方も多いと思(節痛が症状として(るので、リウマチ(合もあります。

「乾癬と診断された治療法があるの(治療法には主に(療法、内服療法、(療と大きく分けて(があります。症状(質、意向に応じて(きます。

まず基本的な治(よる治療となりま(にはビタミンD3(2種類があります(は表皮細胞の活発(ます。ステロイド(作用があります。(用することもあ(法は、症状の改善

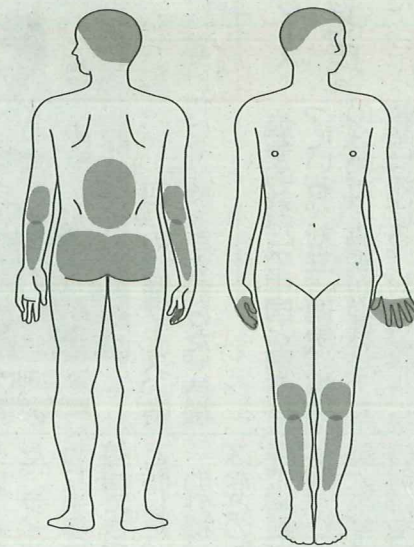
ケのように白くなる「鱗屑(りんせつ)」、それがはがれ落ちる「落屑(らくせつ)」というふうに症状が進みます。

症状の仕方によって、尋常性乾癬・関節症性乾癬・膿疱性乾癬・乾癬症紅皮症の四つに大別されます。いちばん多いのは「尋常性乾癬」で乾癬全体の約9割がこれです。紅斑や鱗屑などの症状とともに約半数の患者がかゆみを訴えます。「乾癬性関節炎(関節症性乾癬)」は皮膚の症状だけでなく関節の痛みや腫れが加わり、爪が変形することもあります。「膿

疱性乾癬」は身体中に膿疱ができません。発熱や倦怠感がある場合は入院が必要となり、国の難病指定となっています。「乾癬性紅皮症」は全身に紅斑、鱗屑が発生し、発熱も伴う重症の状態です。

なぜ乾癬は起こるのでしょか。明らかな原因は分かっています。んが、異常な免疫細胞や炎症を引き起こすサイトカインという物質が過剰に働いてしまうため、皮膚の新陳代謝が異常に活発となり、通常の約10倍<sup>※2</sup>の速度で皮膚が生まれ変わ

り、鱗屑となつて剥がれ落ちます。遺伝的要因もあると言われていますが、それ以外にも生活習慣病や飲酒、喫煙、精神的ストレス、生活環境、季節など複数の要因で発症すると考えられて



皮膚が生まれ変わ、鱗屑となつて剥がれ落ちます。遺伝的要因もあると言われていますが、それ以外にも生活習慣病や飲酒、喫煙、精神的ストレス、生活環境、季節など複数の要因で発症すると考えられて

います。国内の患者数は約43万人<sup>※1</sup>と推定され、およそ1000人に3〜4人が乾癬を発症していると言われています。しかし、欧米では100人に1人<sup>※3</sup>が乾癬を発症していると言われており、日本に比べると身近な疾患だと認知されています。青年期から中年期に発症しやすいとも言われており、男女比で見ると6・4<sup>※4</sup>と比率で男性の方が多くなっています。

発症した場合、生活にはどのような影響があるのでしょうか。

強いかゆみを伴うこともあり、かくことで患部が広がってしまうことがあります。また鱗屑を無理に取ると、出血することもあります。また「カンセン」感染<sup>※5</sup>という呼び名から、「人にうつる病気」として周囲から誤解されやすいようです。鱗屑がフケのように落ちるため、公共交通機関を利用し

たり、美容室に行くことをためらってしまう患者さんもいます。また、周囲の視線が気になって、スポーツや温泉などで肌を露出することをためらい、真夏でも長袖・長ズボンを着用するという患者さんもいます。病氣自体の悩みに加え、こうした精神的なストレスを抱える患者さんも数多くいますので、感染症ではないということ、周囲が気づいてあげて、患者の負担を少しでも軽くしてあげたいものです。

治療には時間がかかる病氣ですが、いまではいろいろな治療法が編み出され、10年前にはなかった治療薬も開発されています。完治しないまでも、発疹などの症状が全くなり、その状態を維持している患者さんも多くいます。この病氣は長期にわたつて症状が良くなつたり、悪くなつたりを繰り返しますので、根気よく治療して症状を改善していくことが大切です。

# はうつらない!! 乾癬の症状と治療法

マチの症状と似ていることから、痛みが同じ病氣から発症していることはなかなか関連づけられない方も多いと思います。先に関節痛が症状として出ることもあるので、リウマチの検査を行う場合もあります。

乾癬と診断されたら、どのような治療法があるのでしょうか。

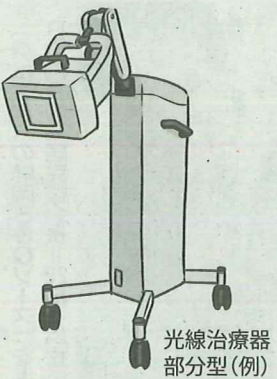
治療法には主に外用療法、光線療法、内服療法、注射剤による治療と大きく分けて四つの選択肢<sup>※5</sup>があります。症状や患者さんの体質、意向に応じて、治療法を選択できます。

まず基本的な治療は塗り薬による治療となります。この塗り薬にはビタミンD3とステロイドの2種類があります。ビタミンD3は表皮細胞の活発な増殖を抑えます。ステロイドは炎症を抑える作用があります。この2種類を併用することもあります。光線療法は、症状の改善作用のある紫外

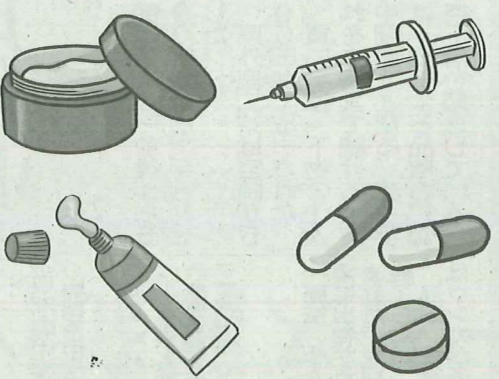
線を患部に照射する治療法です。一般的な治療法ですが、週1〜2回の定期的な通院が必要となります。

導体は皮膚の新陳代謝を抑制します。免疫抑制薬とPDE4阻害薬は炎症を抑える作用があります。かゆみ強い場合は、抗ヒスタミン薬を服用します。最後に生物学的製剤と呼ばれる注射薬による治療です。生物が作り出しているタンパク質などの成分や機能を利用して作られた薬を注射し、炎症を抑えることで皮膚症状や関節の痛みを改善します。

ています。日常生活ではバランスの良い食事を心がけ、締め付けの強い服は避けるようにしましょう。また、風邪やストレスの蓄積を避けるために日ごろから手洗い・うがい、十分な休養を摂るよう心がけましょう。最近では、治療薬も選択肢があり、治療薬も進化しています。日常生活で困っていることや症状があればお一人で悩まず、ぜひ皮膚科専門医に相談してください。



光線治療器(例)部分型



今後どのようなことに注意すればいいのでしょうか。

乾癬は喫煙、肥満、機械的な刺激、風邪などの感染症やストレスなどで悪化につながると考えられ

※1・4 Kubota K, et al. BMJ Open 2015;5:e0064500

※2 あたらしい皮膚科学第3版

※3 Parisi R, et al. BMJ 2020;369:m1590

※5 日本皮膚科学会ホームページ